

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

No. 229

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

2018(平成30)年10月29日

コミュニティ・フェスティバルありがとうございました



10月13日(土)、快晴の中、コミュニティ・フェスティバルを行いました。地域の皆様、保護者の皆様から多数ご来場いただき、子どもたちに多くの励ましの言葉をいただきました。地域からの作品も多数お寄せいただいたり、午後の交流活動ではたくさんの地域の先生に教えていただいたりしました。子どもたちの心に残る一日となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

妙高市民の心



10月14日(日)にふれあいホールにて「妙高市民の心」推進のつどいが開催されました。当校では夏休みの課題の一環として、全校で妙高市民の心作文コンクールに応募しました。その結果、下記児童が表彰され、作文の朗読を行ってきました。

【小学生低学年の部 最優秀賞】

「みんなでたべるとたのしいな」

ぼくは、一人でごはんをたべたことがありません。それは、いつもかそくがちかくにいるからです。でも、お父さんとお母さんがしごとでいない時もあります。その時は、おじいちゃん

とおばあちゃんがぼくのことをしんぱいしてくれます。だから、ぼくは、さみしい気持ちになりません。みんなでしょくじをたべている時は、みんながたくさん話をします。その時、みんなはわらっています。ぼくもわらっています。うれしいとたのしいの気持ちがまざっているからです。

たべている時「ありがとう。」「おいしいよ。」と言うと、おかあさんはよろこんでいます。みんなでたべてたのしい気持ちになるためには、作った人にかんしゃの気持ちをつたえることが大事だと思いました。

みんなといっしょに、たのしい時間をすごしているので、ぼくはいつもにこにこ元気です。かそくみんなに、ありがとう。

【小学生中学年の部 優秀賞】4年

ぼくのおばあちゃんは、少しひざが悪いです。それでも畑で野菜を育てたり、おじいちゃんのぶどう作りを手つだったりしています。おばあちゃんの野菜はとてもおいしいです。

ぼくが三年生だったときに、学校の見学でろう人ホームへ行ったときのことです。お年よりと遊んだり、お話をしたりしました。そのときに、ぼくは、目が見えない人や耳が聞こえない人に会いました。目が見えない人は一人でした。そこで、ぼくはゆう気をふりしぼって、声をかけました。目が見えないのでぼくが来たことに気づいていないようでした。でも、いっしょに遊んでいたときは、すごくうれしそうでした。するとほかの人たちも、その人の所に集まってきました。だから、ゆう気をふりしぼって、声をかけてよかったなと思いました。

でも、ヨーヨーで遊んでいるときに、うまくできなくて困ったときがありました。ぼくは、助けてあげようと思ったけど、どう助けたらいいかわかりませんでした。その日の夜は、ねれませんでした。目の見えない人のためにぼくができることはあったのにできなかったのが、くやしかったです。これからは、このような後かいをしないようにしていきたいです。

ぼくのおばあちゃんは、少しひざがいたいので、しっぽやサポーターをしたり、病院に通ったりしています。それを見ると、ぼくは心配です。おばあちゃんが困っていたら、助けてあげたいです。

おばあちゃんちにとまりに行ったとき、おばあちゃんのしっぽをはがしてあげるとよろこびます。おばあちゃんがよろこぶとぼくもうれしいです。気持ちと気持ちがつながったように感じるからです。ぼくはもっと大きくなっておばあちゃんを助けられる人になりたいです。



【小学生高学年の部 優秀賞】5年

ぼくがお世話になっているおばちゃんは、市内の矢代地区で民泊を受け入れています。民泊とは、自分の家にいろんな人に泊ってもらうことです。台湾や香港など海外からのお客さんもいます。

おばちゃんの家に行くと、海外からのお客さんがいることがあります。ぼくは、「こんにちは。」とあいさつします。すると、お客さんは、「コンニチハ。」と日本語であいさつを返してくれます。たまに、お客さんのあいさつがつかまってしまうことがあります。ぼくには、ちゃんと意味が分かります。ぼくは言葉が少し間違っても、気持ちがこもっていれば、伝わるんだなと思いました。

おばちゃんが海外からのお客さんが民泊に来た時に一番初めにするあいさつは、相手の国の言葉だそうです。相手の国のあいさつは、「おもてなしの心」の一つではないかと思ってやっているそうです。また、タブレットや筆談で話をしたり、一緒に工作をするなどしてコミュニケーションをとっているそうです。

民泊に来た人の中には、日本語で「いただきます。」や「さようなら。」などのあいさつをする人もいます。それは、来た場所に合わせる気持ち、郷に入っては、郷にしたがうということなのかなと思いました。

日本語が通じない場所で、「こんにちは。」とあいさつしても相手には分かりません。だけど、来た国に合わせて、「ハロー。」などとあいさつすれば伝わります。そうすれば、あいさつをした人もされた人も、気持ち良くなると思います。これは、中央小の合言葉「自分もみんなも明るくうれしくよかったね。」になると思います。



ぼくは、おばあちゃんの家で民泊しに来た人に、「明るくうれしくよかったね。」になってもらえるように、これからも、あいさつを意識していきたいです。

11月の予定

11/ 1(木) フリー参観日 マラソン大会 (2,3限)

5年学年 PTC

2(金) マラソン大会予備日

5(月) お弁当の日、教育相談 ~19日(月)

6(火) 市研修会のため、給食後放課 13:20

7(水) 避難訓練

8(木) 全校 SSE、市音楽発表会

13(火) 読書と健康の週間(~19日)

14(水) 長縄大会

15(木) なかよし朝会

19(月) 5・6年生マーチング対面式

21(水) なかよし遊び

26(月) ~30日(金) 個別懇談 1~4年下校 14:35

マーチング練習 5・6年下校 15:30

